



# 「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」 活動報告(平成18年度NO.2)

## 1. わいわいトークサロン

今年度のわいわいトークサロンのテーマは、「私たちの身近な生活からエネルギー・環境を考えよう」です。トークサロンでは、環境やエネルギーに関する問題が地球レベルで叫ばれている今、私たちにできる事を一緒に考えています。

10月14日(土)に、北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」で、「わいわいトークサロン」を開催し、会員43名が参加しました。

学習会では、北陸電力(株)地域広報部の植田課長が「原子力発電の現状」と題して、志賀原子力発電所の耐震安全性について、志賀原子力発電所2号機の低圧タービンの点検状況についてお話ししました。運転を停止している志賀2号機のタイムリーな話であったため、参加者は熱心に聴講していました。

その後、ワンダー・ラボスタッフ遊道さんの講師による「科学工作教室～万華鏡を作ろう～」を行いました。何億とおりもの模様ができることや万華鏡のしくみなどを学んだ後、万華鏡を作成。鏡の組み方など難しい作業もありましたが、思い思いの素敵な万華鏡が出来上がりました。参加者がいっせいに万華鏡をのぞいた時は、大きな歓声があがりました。



原子力発電の現状について学びました



ワンダー・ラボで万華鏡づくり



### 知って、なっ得、でんきのお話 \*\*\*第4話\*\*\*

#### 電気の燃料「ウラン燃料」もリサイクルできることをご存知ですか？

原子力発電所では、ウラン燃料を使って発電を行います。使用した後の燃料には、燃え残ったウランや発電の過程で新しく生まれたプルトニウムといった、まだ使える貴重なエネルギー資源が含まれています。

ナント！使用済燃料のうち、**9割以上**は、繰り返して使うことができます。

そこで、これらを回収して、再び燃料として現在の原子力発電所で利用することを「**ウラン燃料のリサイクル(プルサーマル)**」といいます。

ゴミをリサイクルするのと同じように、**21世紀は、「電気もリサイクルの時代」**です！

今回は、ウラン燃料のリサイクル(プルサーマル)のしくみについてご紹介します。

## 2. エネルギー施設見学会

11月14日(火)に、エネルギー施設見学会を実施し、会員38名が参加しました。富山駅北口を出発、バスの中で楽しくエネルギークイズを行った後、まずはスーパーカミオカンデを見学しました。ヘルメット姿になった参加者は、普段見ることができない施設にビックリ。宇宙から飛来するニュートリノと呼ばれる素粒子の観測について学びました。

その後、北陸電力(株)神岡電力所を見学しました。水力発電所や変電所を良好に運転し、安定した電力を供給するための点検や修理などの保守業務や水を安全かつ有効に運用していることを学びました。



神岡電力所の見学



スーパーカミオカンデ内  
たくさんの配線にビックリ



水力発電のしくみがよくわかったわ！



### VOICE ~行事に参加いただいた会員の声~

第1回目は、**山本公子さん** です

**\*\*わいわいトークサロンに参加されてどうでしたか？\*\***

「わいわいトークサロン」は、私にとって楽しくエネルギーや環境問題について考え、学べる場です。サロンで学んだこととして「電気の上手な使い方」など生活の中で身近なところから実践するようにしています。

これからのエネルギーを考えるうえで原子力発電の選択は、私たち一人一人が選択するものであるとサロンを通じて学びました。当会の会員として、これからも選択するために必要な知識を増やしていきたいと思っています。

また、現在、志賀原子力発電所2号機は、運転を停止していると聞いております。私は、地球温暖化防止のためにも一日も早い安全運転が再開されることを願っております。

今年度はどんなテーマでこの会がスタートするのかと楽しみにしています。

### 事務局VOICE 今年もいろいろな行事を計画しております。お楽しみに！



発行元・お問い合わせ先

『環境とエネルギーを考えるとやま女性の会』

(事務局) 北陸電力株式会社 地域広報部エネルギー広報チーム

〒930-8686 富山市牛島町 15-1

TEL076-441-2511(代表)(内線:2631~2635) FAX 076-405-0111